

子ども食堂カー！



ミニスポーツ教室

—貧困層の子どもたちに—



一橋大学商学部 岡本ゼミナールB班

○田中涼太郎 菅野将志 廣井花歌

目次

- はじめに 子どもの貧困とは
- 現状 現在の子どもの貧困の実態
- 課題の把握 貧困対策に取り組む組織への調査
- 提言 子ども食堂カー派遣プロジェクト
- まとめ 期待出来る効果

はじめに

『貧困』についてどう思っていますか？

『貧困』



「お金がない」

- 食事が不十分
- 塾や習い事などに通えない
- ゲームやおもちゃなどを買ってもらえない など...

はじめに

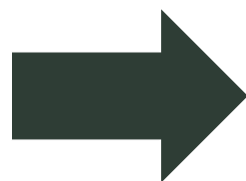
「お金がない」がもたらすもの

『子どもの貧困』

「『お金がない』という問題は、**経済的な次元を超えて複合的な不利をもたらし、可能性と選択肢を奪い、人や社会との関係性を断ち切っていく**」

「**進学や就職における選択肢を狭め、自ら望む人生を選び取ることができなくなる**」

(松本イチロウ子どもの貧困ハンドブック 2016)



**子どもの選択肢・
ライフチャンスの制約**

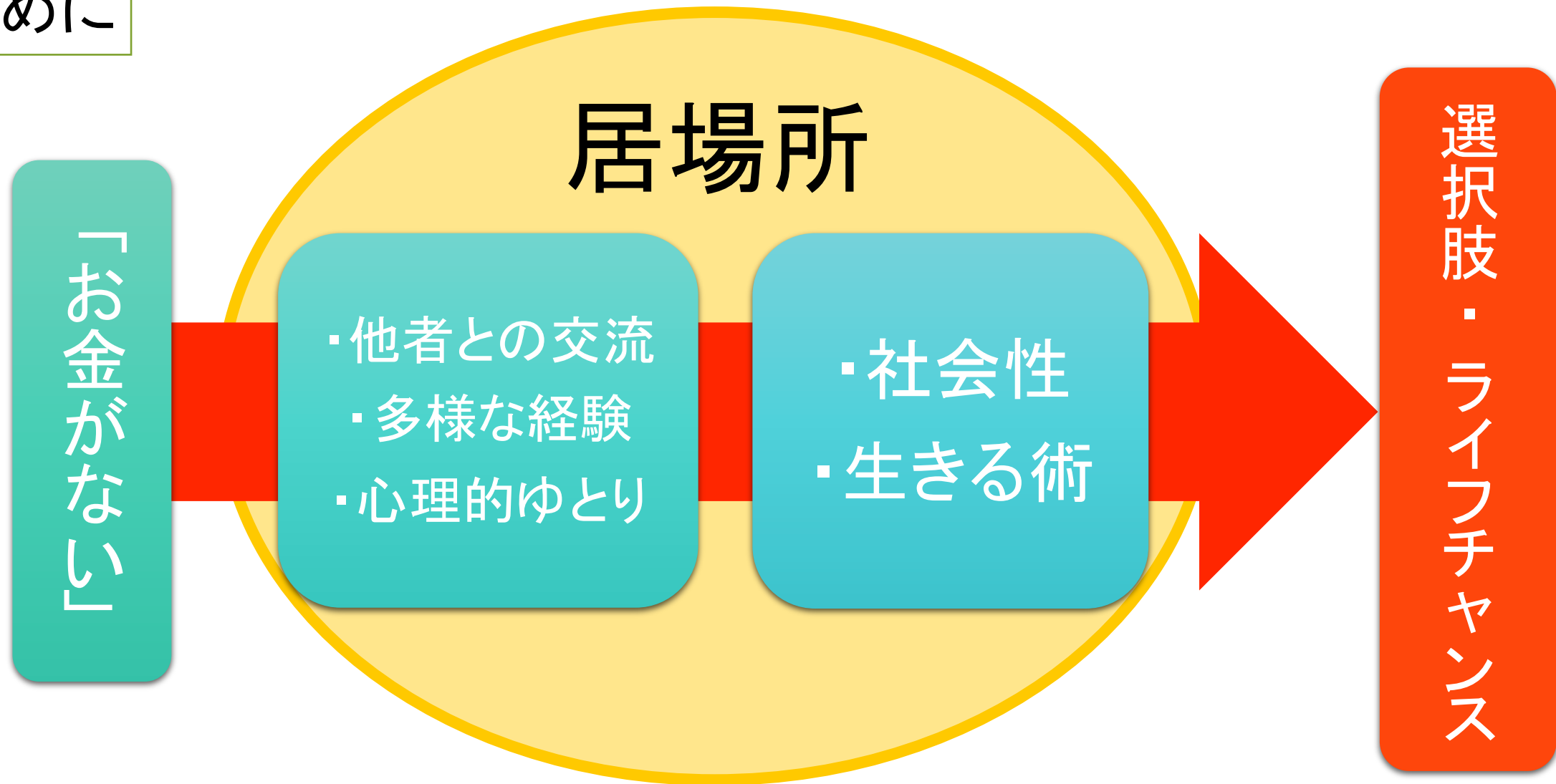
はじめに

「お金がない」がもたらすもの



(松本伊智郎ら『子どもの貧困ハンドブック』2016 かもがわ出版 より)

はじめに



(松本伊智郎ら『子どもの貧困ハンドブック』2016 かもがわ出版 より)

居場所の必要性

- 内閣府の調査研究によると

「子どもの貧困対策の推進にあたって、子ども食堂のような家でも学校でもなく、自分の『居場所』と思えるような場所を提供する支援が重要視されている。」

(内閣府「国及び地方公共団体による『子供の居場所づくり』を支援する施策調べについて」2017より)

- 湯浅誠氏(社会活動家・法政大学教授)によると

「...お金さえあれば、子どもは幸せに、健全に育つというわけではない。学力も意欲も人とのつながりも必要で、『居場所』と感じられる場所が欠かせない。」

(湯浅誠『「なんとかする」子供の貧困』角川新書 2017より)

はじめに

「居場所が提供するもの」

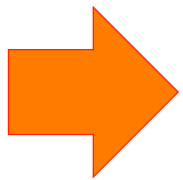
湯浅誠氏（社会活動家・法政大学教授）によると

「子どもの貧困問題において居場所が提供するもの」

- 栄養や知識
- 体験（交流）
- 時間
- 生活支援



核は「時間」

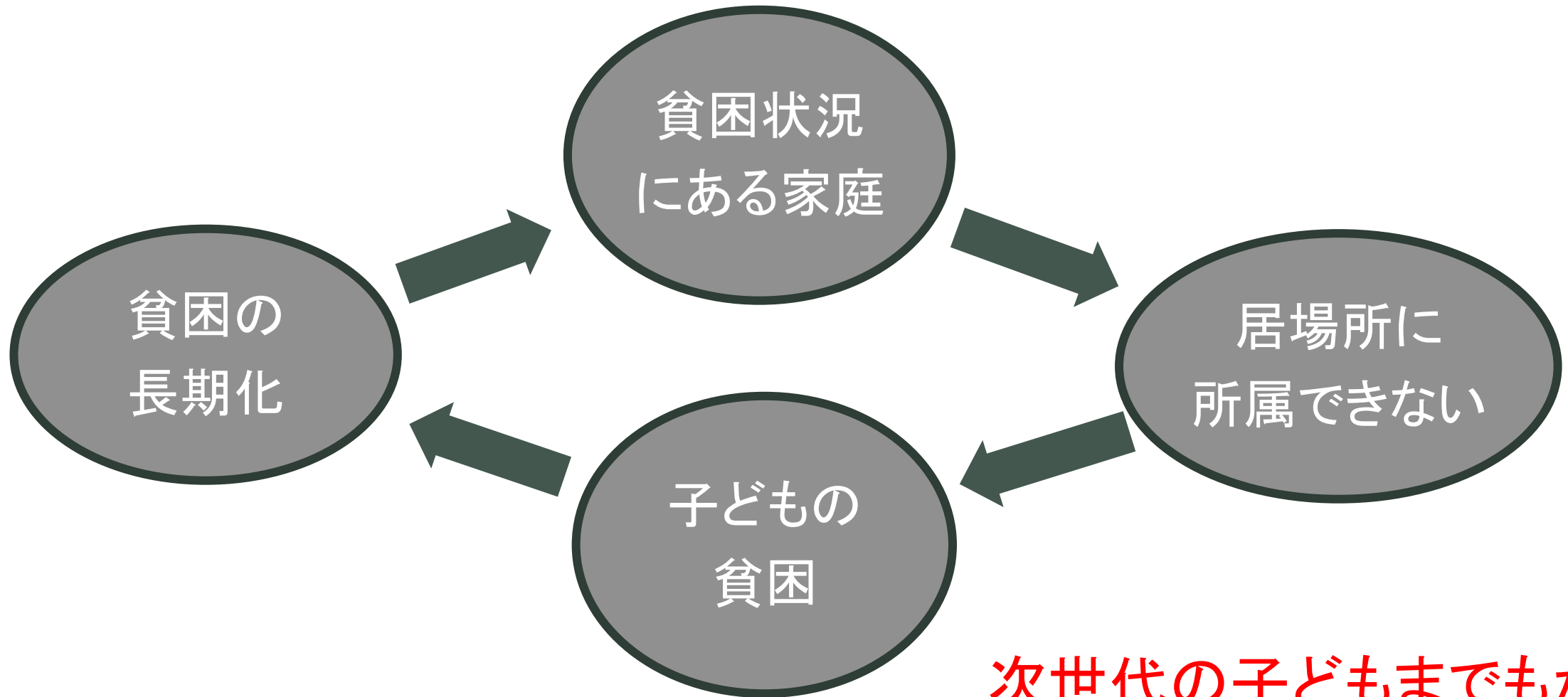


「人との関わりの中で、子ども達は社会性や常識を身につけ、物事の見方や考え方を学んでいく」

（湯浅誠『「なんとかする」子供の貧困』角川新書 2017 より）

はじめに

貧困のサイクル



(子どもの貧困ハンドブックより作成)

**次世代の子どもまでもが
継続して貧困状態に！**

はじめに

「子どもの貧困問題」解決の意義

社会の構成員である私たちに
深く関わる問題

子どものため・社会のためにも
解決しなければならない！！

子どもの貧困の現実

貧困状態にある日本の子どもの総数.....

320万人

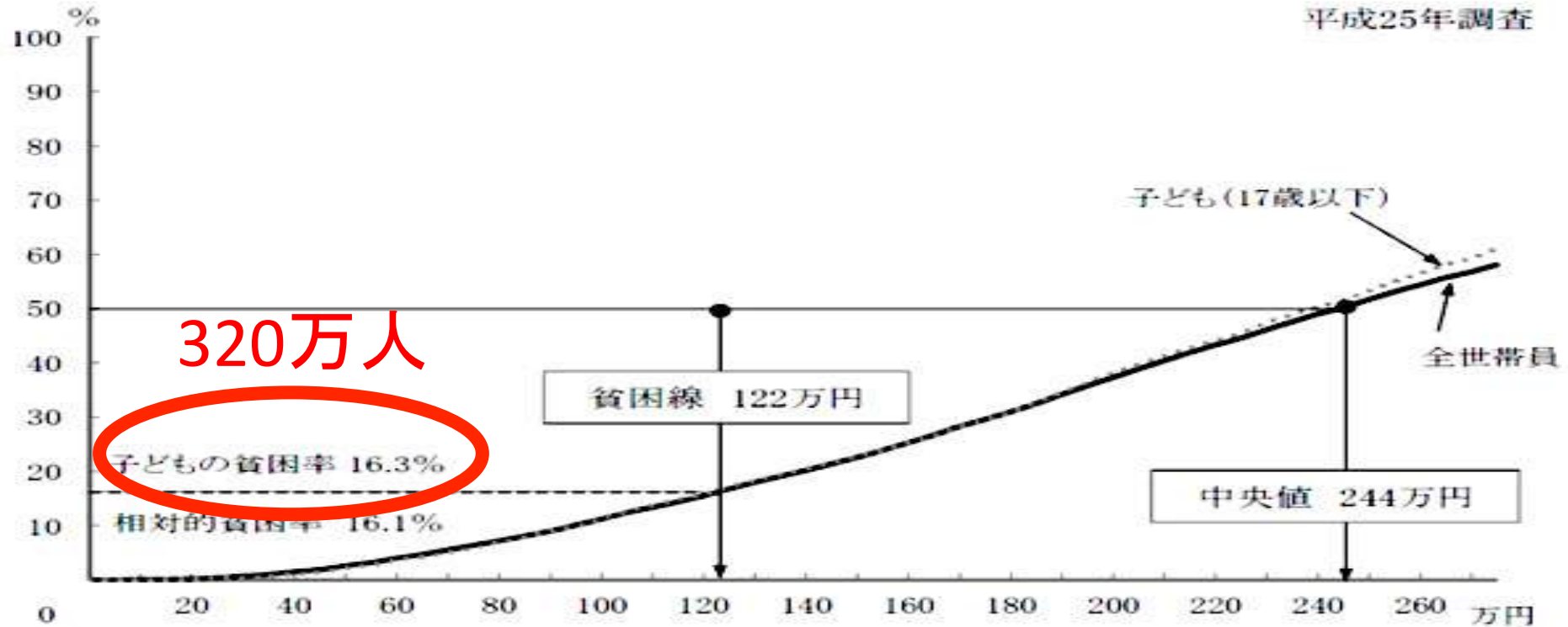
÷ 6人に1人

(厚生労働省『平成25年 国民生活基礎調査の概況』より)

子どもの貧困の現実

2012年子どもの貧困率...16.3%

等価可処分所得金額別に見た世帯員数の累積度数分布



注：等価可処分所得は、名目値である。

政府による貧困対策

政府の子どもの貧困対策の経緯

- 2009年10月 厚労省が貧困率を初めて公表
- 2013年6月 子供の貧困対策法が成立
- 2014年8月 子供の貧困対策大綱を閣議決定
- 2016年8月 ひとり親世帯に支給する児童扶養手当の二人目以降分を増額

今年度は給付型奨学金、教育無償化を施策の柱に。

→**財源が大きな課題**

「子どもの貧困問題の改善には長い期間をかけ、
地道に学びや生活を共にする支援が必要だ」

(NPO法人「さいたまユースサポートネット」青砥恭代表)

(朝日新聞 6月28日 より)

現状 草の根からの貧困対策の拡がり

子ども食堂

「家庭で食事を摂ることができない子ども等をターゲットに…
夕食の提供や交流を図り、… 子どもたちが子ども同士や
支援者らとともに過ごす取り組み」

(子ども食堂活動の意味と構成要素の検討に向けた考察
—地域における子どもを主体とした居場所づくりに向けて—)

2010年 民間の非営利活動として開始

2012年 近藤博子氏が「子ども食堂」を設置
以後その名が各地に広まる

2013年 子どもの貧困対策法可決
公的支援を受けつつ全国各地に拡大



現状

子ども食堂の具体的な取り組み

府中市「こどもの居場所作り」事業

- 月に一度、17:00～19:00
- 子ども無料、大人300円
- 寄付とボランティアで運営



朝日新聞社の統計によると 全国の子ども食堂319件中

- 月に一度が4割、平日夜が多い
- 子ども無料が5割、大人は子供より高く設定
(朝日新聞 2016年7月1日)

現状

全国に広まる子ども食堂

都道府県別の
子ども食堂の数

合計 **319**カ所

10カ所以上

東京 **50**

滋賀 **29**

神奈川 **22**

京都 **22**

大阪 **22**

沖縄 **17**

福岡 **15**

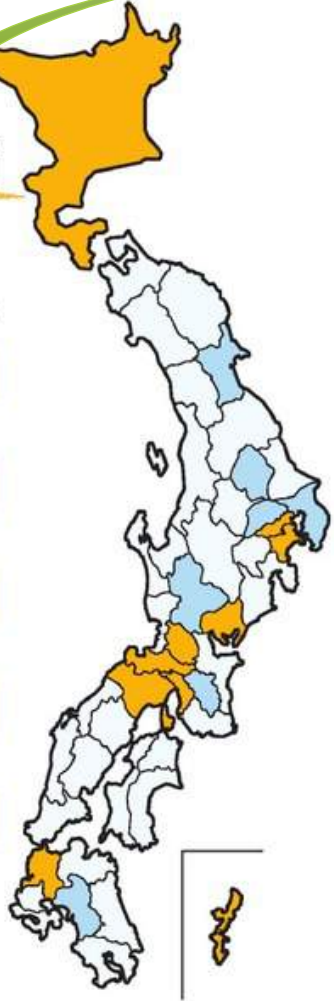
北海道 **14**

兵庫 **13**

愛知 **10**

5~9カ所

1~4カ所



(5月末現在)

258ヶ所はこの2年間での開設

全国で急増 **なぜ？**

- 食事をきっかけに、子どもが他者との交流ができ、様々な経験を得られる
- 子どもにとって、「自分に関わり、自分を見て、自分に声をかけ、自分の話を聞いてくれる」人ができる



居場所

(湯浅誠『「なんとかする」子供の貧困』角川新書 より)

現状

子ども食堂が果たす役割

子ども食堂＝「居場所」、そして「支援の入り口」

例) NPO法人

豊島子どもWAKUWAKUネットワーク(子ども食堂)にて

スタッフと子どもが信頼関係を持つ

勉強の悩みを打ち明ける「進学したい...」

スタッフに紹介され、学習支援を受ける

他の支援制度・
支援機関に繋がる

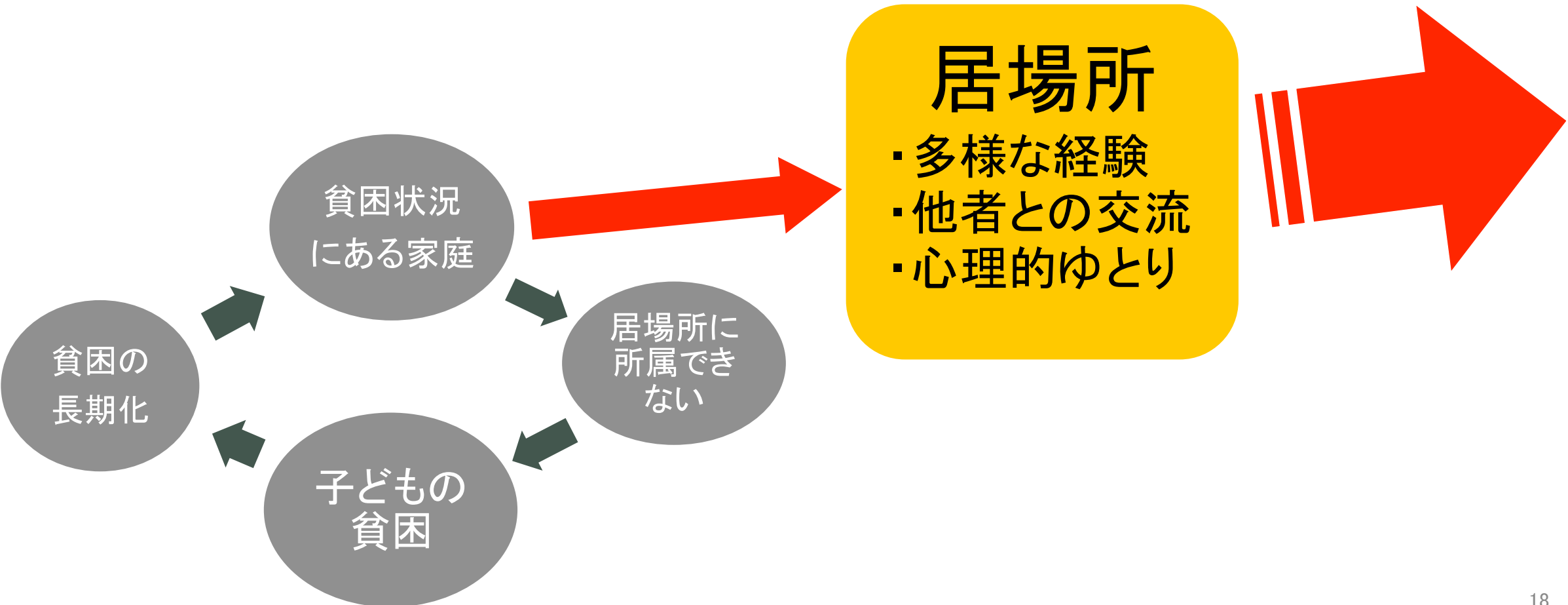
様々な側面から
貧困脱却につな
がる！

(NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク(2016)『子ども食堂を作ろう！』明石書店)

現状

「居場所」の効果

→ 貧困のサイクルの縮小



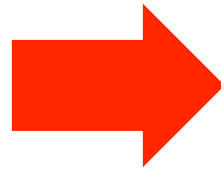
貧困から脱却!

課題

実態は？

課題点は？

貧困層の
子ども



居場所
(子ども食堂)

子ども食堂の課題点

インタビュー調査(1)

訪問先：千葉県船橋市
コミュニティカフェ凧童舎
(子ども食堂)

対象：吉岡秀記(代表)

訪問時期：6月21日(水)



子ども食堂の課題点

吉岡さん曰く

「子ども食堂の存在を知ることができない
子どもがいる（主に口コミで伝わる）」

自分のことについて
根掘り葉掘り
聞かれるのではないか...

「知っているも恥やプライドなどの感情により
来られない子どもがいる」



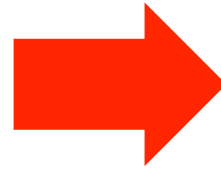
- 子どもたちにとって子ども食堂の存在を知る場が必要
- 貧困層の子どもに的を絞ったアプローチはしにくい

課題

実態は？

課題点は？

貧困層の
子ども



居場所
(子ども食堂)

貧困層の子どもの実態

インタビュー調査(2)

訪問先：府中市子ども家庭支援
センター『たっち』

対象：田中彰子氏
(相談員・保健師)



インタビュー調査(3)

訪問先：NPO法人青少年の居場所
『Kiitos』

対象：白旗眞生氏(代表)



貧困層の子どもの実態

田中彰子氏(相談員・保健師)、白旗眞生氏(代表)談

『エネルギーのある』→向社会性活力が多い子ども

- 外に出る元気がある
- 居場所に関する情報を得やすい
- 近い将来のモデルである中高大生に憧れている
- スポーツイベントにだけ来る子どもも多くいる

『エネルギーのない』→向社会性活力が少ない子ども

- 外に出る元気がない
- 居場所に関する情報を得にくい
- 行政以外による対応が難しい

居場所に行くことが
困難

貧困層の子どもの実態

向社会性活力	居場所に関する情報	居場所があるか
多い	○	△(恥やプライド)
	×	×
少ない	×	×

課題

様々なタイプの
子がいる

子どもが来る
きっかけが課題

貧困層の
子ども

問題は
ココ！

居場所
(子ども食堂)

課題

- ①居場所(子ども食堂)に関する情報が届いていない
- ②恥などの感情が邪魔をして居場所に行きづらい



この2つの課題を解決！

子どもたちが
居場所に向かう
「きっかけ」づくり！

子ども食堂カー 派遣プロジェクト！



提言概要

貧困層
の
子ども

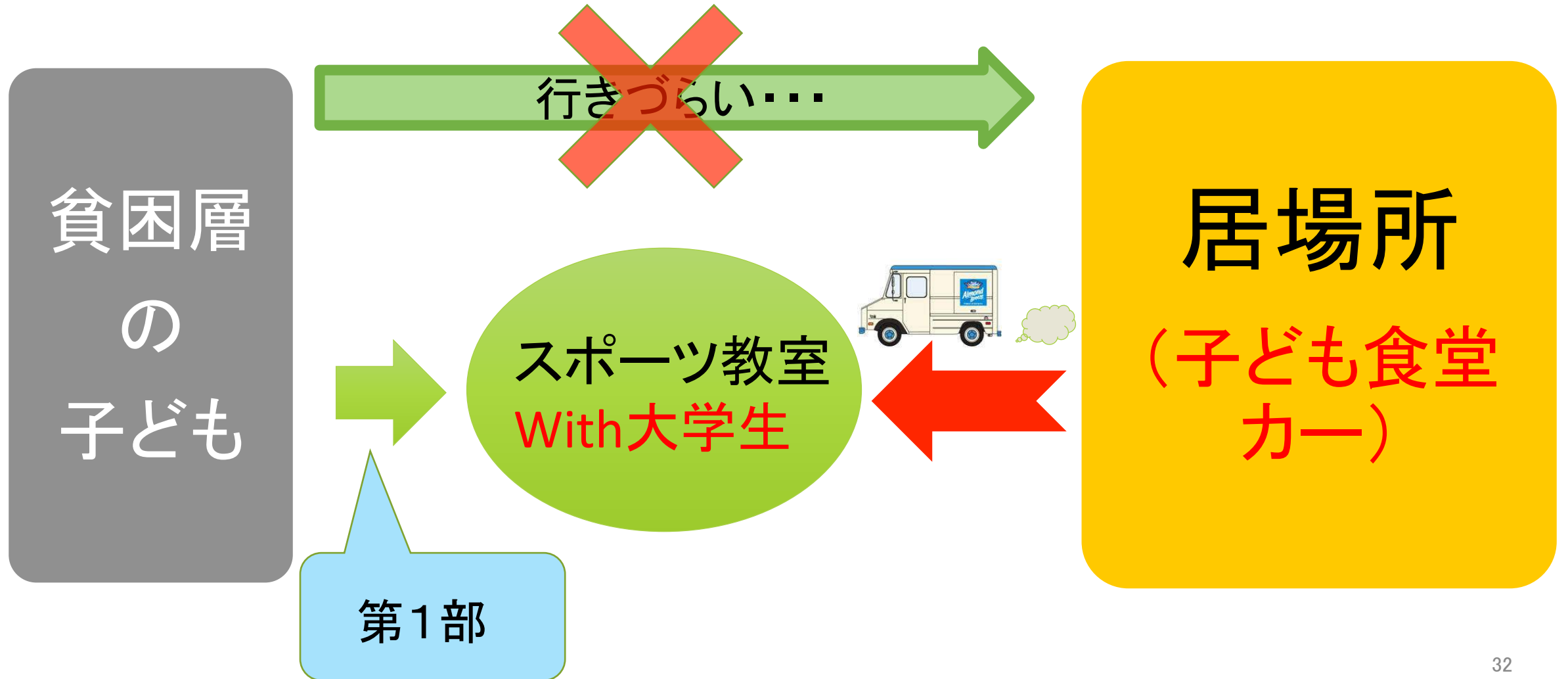
行きづらい……

居場所
(子ども
食堂)

提言の概要



提言概要



提言内容 第1部

～既存のスポーツ教室に貧困層の子どもを～

提言先：市区町村の子ども支援課

目的：市主催の既存のスポーツ教室に貧困層の子どもを参加しやすくする



- ・スポーツの持つ楽しみは積極的な参加を促すことができ、
恥などの感情に邪魔されにくい
- ・運動してからご飯を食べるという流れの中で自然な交流を促せる

内容：スポーツ教室に新たに大学生ボランティアを募る
学校（保健室）や子ども支援センターなどでも告知

既存のスポーツ教室 + α

- 主に、市が雇った講師1～2名＋子ども40名程度 で構成
➡ 大学生ボランティアを数名加え、サポートや交流を強化
- 広報の折り込みチラシや公共施設での広告スペースでの広告
➡ 貧困層の子どもに情報が行き届きやすいように、
保健室や子ども家庭支援センターなどでも告知

既存のスポーツ教室

- 国立市...かけっこ教室、さかあがり集中講座など
- 府中市...ジュニアスポーツ教室(様々な運動)など



提言イメージ

貧困層
の
子ども



居場所
(子ども食堂
カー)



第2部

提言内容 第2部

～スポーツ教室後は子ども食堂カー～

提言先：市区町村の子ども支援課

目的：子ども食堂を知ってもらう

「運動して疲れたからご飯を食べる」はごく自然な流れ！

- 内容：
1. 子ども食堂のスタッフがキッチンカーで調理 in公園
 2. 大学生と子どもで一緒に食事をする
 3. 子ども食堂の存在と良さを知ってもらう

➡ 「今月はどこでいつ、子ども食堂やってるから来てね！」

なぜ大学生が関わる必要があるのか？

- スポーツ教室・子ども食堂・その後の支援（学習支援など）のサポートを厚くさせる存在
- 大学生は子どもにとって将来のモデル

期待できる効果1

貧困からの脱却！

子ども食堂を居場所に、
生きる術・社会性を得る

ハードルが低い
スポーツ教室へ

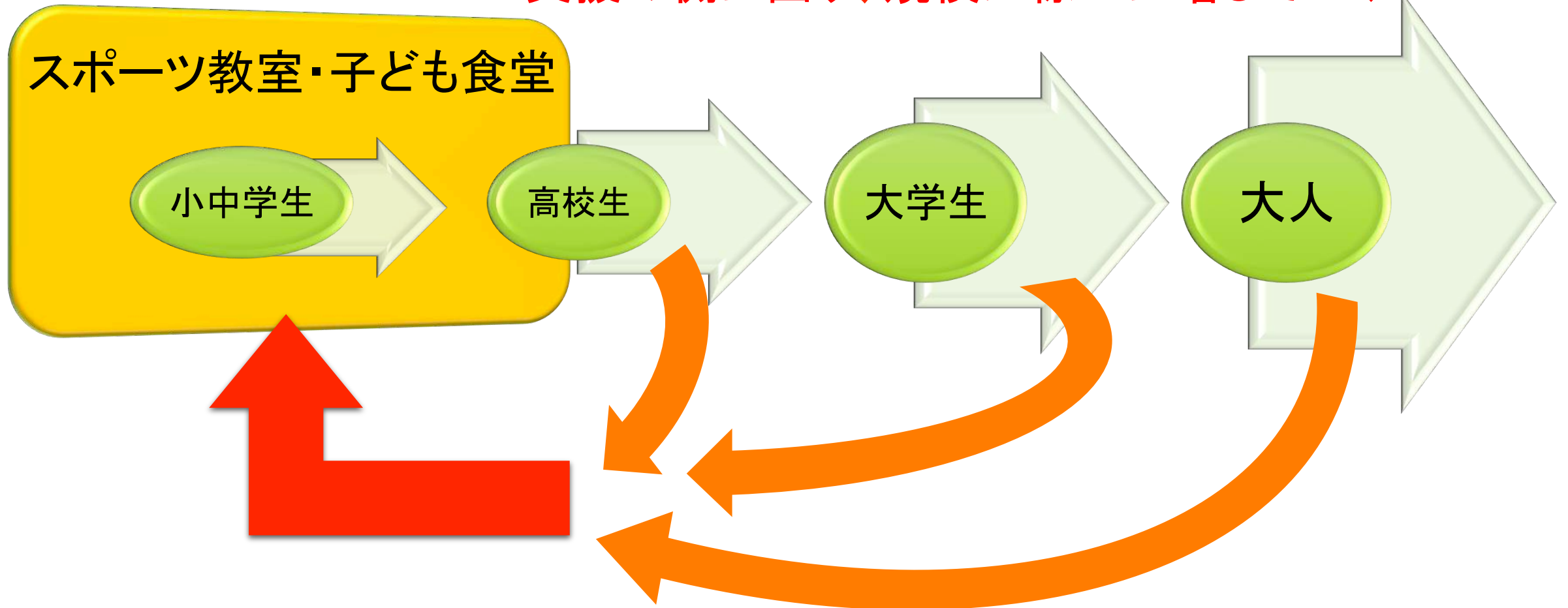
ライフチャンス・
選択肢の拡大

スポーツ教室をきっかけに、
子ども食堂へ



期待できる効果2

子ども食堂を居場所に育っていった子どもが
支援の側に回り、規模が徐々に増していく



大学生が関わる意義

- 「子どもの貧困」から目を背けてはいけない！！
- 参加しやすいミニスポーツ教室
→ 大学生がこの問題を考える機会

「本来関わることの無い、生きづらさを抱えた貧困層の子供たちに、大学生の君たちが関わろうとしてくれるのは本当に嬉しい」
青少年の居場所『Kiitos』代表白旗氏

参考文献

- ジェイン・マクゴニガル(2011)『幸せな世界はゲームが作る』早川書房、2011年
- 荒井俊行;野嶋栄一郎(2017)「大学生のボランティア活動への参加成果志向が参加志向動機・不参加志向動機に及ぼす影響」日本教育工学会論文誌、Vol. 41 No. 1、97～108頁、2017年
- 前林清和(2009)『Win-Win の社会をめざして-社会貢献 の多面的考察-』晃洋書房、2009年
- 松本伊智朗;湯澤直美;平湯真人;山野良一;中嶋哲彦(2016)『子どもの貧困ハンドブック』かもがわ出版、2016年
- NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク(2016)『子ども食堂をつくらう!』明石出版、2016年

ご清聴ありがとうございました

貧困層の子どもの実態

エネルギーのある子ども

- 外に出る元気がある
- 居場所に関する情報を得やすい
- 近い将来のモデルである中高大生に憧れている

エネルギーのない子ども

- 外に出る元気がない
- 居場所に関する情報を得にくい
- 行政のみ対応可能

どうするか？

居場所に行くことが
困難

行政との連携

- 行政職員による家庭訪問の際に、外に出る元気がない子どもにスポーツ教室の情報を伝えてもらう
- ➡元気が出てきたら、スポーツ教室に来てもらえる！

大学生はボランティアをするのか？

荒井俊行・野嶋栄一郎(2017)によると、

ボランティア活動の推進には、参加成果思考を的確に捉え、これらに適切に応える必要があり、大学生に対する調査で、参加成果志向では、自己成長・キャリア開発・精神的高揚・ヘルス安寧・評価承認の5因子が見出された。

特に自己成長・精神的高揚は、内発的な参加志向動機を高めることが示されている。

インセンティブその1 自己成長

「アイデンティティ確立が非常に困難となっている今日、ボランティア活動は自分自身を成長させ、自分を作るための大きな要素となっている」

前林清和(2009)

スポーツ教室ボランティアは？

- 地域や社会の課題・実情に対する理解が深められる
- 人と接する力が身につく
- 社会や人の役に立てる



自己成長 できる！！

インセンティブその2 精神的高揚

「『充実感を感じたい』『やり遂げたという達成感を得たい』 というような精神的高揚への期待はボランティア活動への参加志向動機に結びつく」 荒井俊行・野嶋栄一郎(2017)

「支援・応援した相手が成長・成功した時に得られる幸福感(=ナヘツ)は、他者の成長や達成への協力に対して前向きにさせる」 (ジェイン・マクゴニガル、2011)

スポーツ教室ボランティアは？

- みんなでスポーツ・運動をする楽しさ、喜びを味わえる
- 自分が教えた子どもが上達・成長する姿を見られる



精神的高揚・ナヘツを得られる！！